



学校で伸ばす自分のよさ

学校長 村越 新

5月の講話朝会で、子供たちに「学校で磨きたい自分のよさ」を2つ考えるように、伝えました。**学校とは自分の良さを磨く場所**であり、「よさ」とは、長所、好きなこと、がんばりたいと思っていること、人の役に立つことなどです。

子供たちが決めてくれた「扇小で磨きたいよさ」を紹介します。



- 1年生** 「よく食べる」 「ピアノ」 「水泳」 「体育」
「みんなと仲よし」 「早寝早起き」 「字がきれい」 「絵が上手」
「返事」 「話を聴く」 「元気なあいさつ」 「友達を作る」 など
- 2年生** 「給食を全部食べる」 「忘れ物をしない」 「先生の話聴く」
「友達に優しい」 「学び合い」 「人の気持ちを考える」
「元気に遊ぶ」 「読書」 「無言掃除」 「カもち」 など
- 3年生** 「人に教える」 「チャレンジする」 「字が上手」 「悪口言わない」
「集中して勉強」 「元気に校歌を歌う」 「名札をつける」 「英語」
「敬語を使う」 「メディアを減らしてる」 「あきらめない」 など
- 4年生** 「泣かない」 「ポジティブ」 「友達を大切に」 「努力する力」
「チャイム着席」 「ルールを守る」 「整理整頓」 「素直」
「自分から行動する」 「心の広さ」 「声の大きさ」 など
- 5年生** 「やる事ことはやる」 「授業の準備」 「時間を守る」 「言葉遣い」
「誰だれにでも話せる」 「たくさん発表する」 「明るさ」
「メリハリをつける」 「当たり前のことをする」 「学ぶ姿勢」
「人を見捨てない」 「話を聴く力」 「かわいさ」 など
- 6年生** 「負けず嫌い」 「美術力」 「めげない」 「目をみてあいさつする」
「礼儀」 「やり遂げる」 「リーダーシップ」 「貢献」 「想像力」
「気配り」 「友達のよいところをよめる」 「積極的に発言する」
「係の仕事」 「失敗を恐れずチャレンジする」 「考えて行動する」
「観察力」 「みんなに平等」 「ルールを守る」 など

扇っ子が磨きたいと決めてくれた「自分の良さ」、みんなで応援したいものです。

貢献力が育ってます

大雨によって、一階渡り廊下に**水漏れ**が発生しました。それに気づいた**六年生**が、扇小のために動いてくれました。それぞれが集められるだけの**雑巾**を持って集まってきました。それでは不足に次は**新聞紙**、そして体育館に行き**モップ**をもって、水をなくすようにと取り組んでくれました。給食の時間になっても辞めることなく、正に夢中になって活動してくれました。「**他の子が**ここを歩けるように」「**学校のために**」と動いてくれた姿は、美しかったです。本校の教育目標「貢献」を体現してくれた姿でした。



宿泊学習から帰ってきた**五年生**が、到着式で次のような感想を発表しました。

「いろいろなことを自分で考えて行動できた。(略)

これからも自分で考えて行動したい。**家でも家事をしたい**」

二日間の活動を通して、学校だけでなく、家でも生かしたい、貢献したいという気持ちが生まれたのでしょうか。



本校では、「貢献」は「**集団意識**」から始まるととらえています。六年生が扇小のために貢献しようと考えてくれたのは、自分たちが扇小学校のリーダーだという**集団意識**が育っていたからだと考えます。五年生の子から「家でも」という言葉が出たのも、二日間の**集団生活**で意識が高まったからだと考えます。

貢献とは

- 一 集団を**より良く**しようと、本気で願うこと
- 二 集団のために、自分の**よきを生かす**こと
- 三 自分が仲間や集団のために役立っていると**実感**できること
- 四 集団のために自分を高めようと**努力**をすること

善く行く者は**てっせき**なし (老子)

上手に歩く人は足跡を残さない。立派な仕事を成し遂げた人ほど、これは俺がやった仕事だという痕跡を残さない。社会に貢献しているにしても目立たぬ貢献をしている。